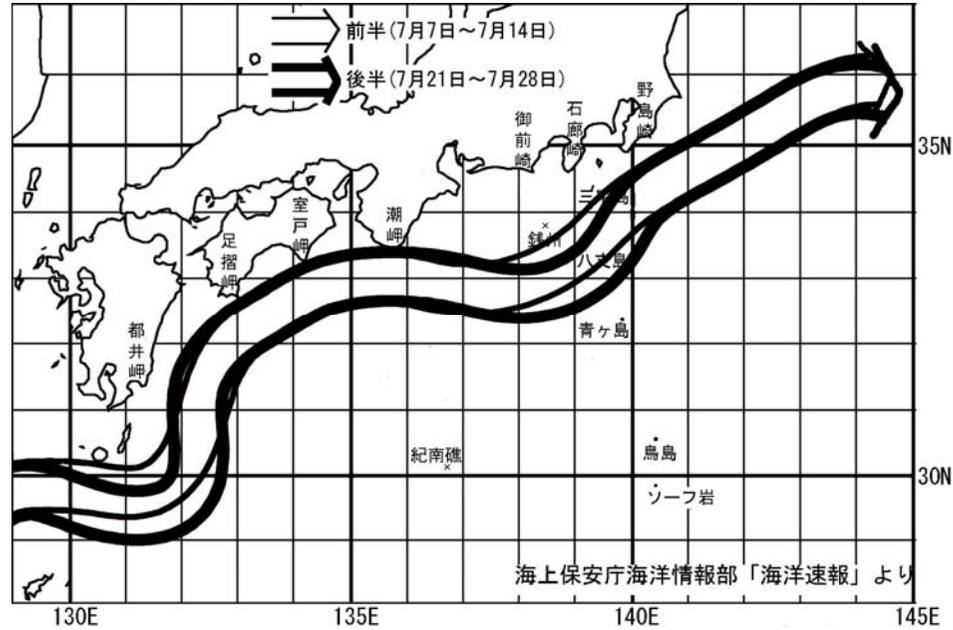


漁海況月報

平成23年 7月 1日

No. 7 ~7月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	22.6	20.6	20.2	24.4	25.7	23.9	23.3
	0.6	-0.6	-1.4	1.5	2.8	1.2	0.6
中旬	23.6	22.1	21.8	26.0	26.9	25.6	25.4
	0.6	0.3	0.0	2.1	2.9	1.8	1.8
下旬	24.7	24.4	23.6	25.1	24.6	24.1	24.3
	0.4	1.6	0.7	0.2	-0.2	-0.7	-0.6
月	23.6	22.4	21.9	25.2	25.7	24.5	24.3
	0.5	0.5	-0.2	1.2	1.8	0.7	0.6

【黒潮流路】

前半の黒潮は、足摺岬～潮岬で接岸し遠州灘沖を東進した後、八丈島と三宅島の間を通過して房総半島沖へ流去した。後半の黒潮も、足摺岬～潮岬で接岸し遠州灘沖を東進した後、八丈島付近を通過して房総半島沖へ流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では20～24°C台、駿河湾東部では24～26°C台、駿河湾西部では23～25°C台で経過した。駿河湾内では中旬までやや高め～かなり高めであったが、台風6号が通過した下旬には平年並み～やや低めとなった。伊豆半島東岸では上旬は沿岸湧昇によりやや低めであったが、中旬以降は平年並み～やや高めとなった。

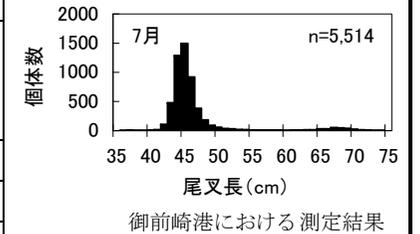
【竿釣近海カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は300トで前年同期の195%であった。魚価は372円/kgで、前年同期を下回った。

静岡県近海では32°30'～33°30'N、139°～140°Eの新黒瀬から青ヶ島周辺にかけて小(尾叉長45cmモード)を主体に特大、大(尾叉長67cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚 隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 /kg
23年 7月上旬	135	19	7.1	307
中旬	71	22	3.2	332
下旬	94	23	4.1	497
23年 7月計	300	64	4.7	372
22年 7月計	154	76	2.0	459
21年 7月計	306	121	2.5	474



【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は310トで、前年同期の同漁場の水揚量(635ト)の約5割、平年(昭和57～平成22年の平均、293ト)とはほぼ同量であった。

魚種別では、①サバ類149.6ト②カタクチイワシ78.7ト③シイラ23.2ト④マアジ21.3ト⑤マイワシ9.8トの順に水揚げされた。

サバ類は尾叉長で33～37cmのゴマサバにマサバがわずかに混じる状態で北川、川奈漁場を中心に前年同期の約4割の量が水揚げされた。また、マアジは尾叉長で19～32cmの大きさものが北川、谷津漁場を中心に前年同期と同量が水揚げされた。一方、カタクチイワシは赤沢、伊豆山漁場を中心に、シイラは川奈、北川漁場を中心に、マイワシは古網、伊豆山漁場を中心に、それぞれ、前年同期の12倍、4.6倍、8.7倍の量が水揚げされ好漁となった。

漁場別では、北川65.8ト(サバ類、カタクチイワシ、シイラ主体)、川奈61.6ト(サバ類、カタクチイワシ、シイラ主体)、赤沢48.6ト(サバ類、カタクチイワシ、マアジ主体)、伊豆山44.5ト(サバ類、カタクチイワシ、マアジ主体)の順に水揚げ量が多かった。

[サバたもすくい・棒受網]

小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ658トン（前年同月比79%）が水揚げされ、1隻あたり水揚量は25.3トン/隻（前年同月比79%）であった。ゴマサバの平均単価は56円/kgで、前月（58円）・前年同月（57円）並であった。

棒受網の漁場は、上旬はひょうたん、大室出し等に、中下旬は三宅、三本に形成されたが、前月下旬来の漁場への黒潮の接近に伴い漁況はやや低調に推移した。たもすくいの漁場は利島等に形成された模様。

ゴマサバの魚体は、尾叉長28cmモードの2歳魚（2009年級群）、1歳魚（2010年級群）主体であった。また、棒受網では29～31cmモードのオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
23年7月上旬	0	167	4	8	0.0	20.9	—	58	利島, 三本, 三宅
中旬	0	297	4	10	0.0	29.7	—	56	利島, 三本, 三宅
下旬	0	195	3	8	0.0	24.3	—	54	三本, 三宅
23年7月計	0	658	11	26	0.0	25.3	—	56	—
22年7月	0	832	12	26	0.0	32.0	204	57	利島, 三本, 三宅
21年7月	0	691	10	21	0.0	32.9	—	54	三本, 銭洲, 三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

* マサバは36kgの水揚げがあったので、単価のみ記載した。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が667kg、遠州灘が675kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は673kgと前年同期(237kg)の284%、平年同期（過去5か年平均：358kg）の188%と前年、平年を上回った。また、総水揚量は1,572.1トンで前年同期(569.9トン)の276%、平年同期（712.2トン）の221%と前年、平年を上回った。平均単価は538円/kgと平年同期（651円/kg）を下回った

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	112.1	17	217	517	474
舞 阪	521.8	17	787	663	535
福 田	288.8	16	429	673	600
御前崎	159.5	17	170	938	517
吉 田	314.0	17	404	777	510
静 岡	175.9	15	330	533	552
平成23年7月計	1,572.1		2,337	673	583
平成22年7月計	569.9		2,403	237	746
平成21年7月計	1,461.8		2,469	592	527

[まき網]

小川港ではマイワシが21.9トンの水揚げで平年同期（10.7トン）の2.0倍であった。沼津港では、マイワシが0.7トンの水揚げで平年同期（33.1トン）の2.0%であった。静浦港では、マイワシが1.2トンの水揚げで平年同期（12.8トン）の9.5%、カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期108.6トン）。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった（平年同期91.5トン）。

注）平年同期：過去5か年(2006～2010年)平均

[調査船の動向]

駿 河 丸

7月 5日	～	7月 7日	地先定線観測	(3日間)
7月 11日	～	7月 12日	タチウオ調査	(2日間)
7月 25日			シラス調査	(1日間)
7月 26日	～	7月 27日	サクラエビ調査	(2日間)
7月 28日	～	7月 29日	マリンロボ調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

